

「知的資産経営国際ワークショップ～イノベーションを生み出す組織と人材～」
開催概要(案)

平成21年10月

1.目的:

グローバル経済化、知識経済化を迎えた世界経済においては、持続的な競争力、差別化の源泉となる知的資産を正しく認識し、相互に組み合わせ、活用する知的資産経営を実践することが重要である。

本カンファレンスにおいては、これら知的資産を活用し、その潜在力を現実のものとする方策、つまり、そこから目に見える価値のあるものにつなげていく方策について、特に海外の事例を取り上げることで、我が国企業の戦略への示唆、ひいては、世界経済発展に向け、異なる知的資産を有する各国、各企業同士相互補完的なあり方に係る提言を行うこととする。

特に、欧州の経験による知見を取り上げることで、今後の活動にむけた具体的な示唆を与え、直接的に企業行動に結びつくことが期待できる。その結果、競争力のある組織のあり方、また、人的資産への適切かつ、的確な施策の遂行の発展、イノベーションを支援する外部とのコミュニケーションの質的向上を目指すものである。

2.内容:

(1)タイトル:

「知的資産経営国際ワークショップ～イノベーションを生み出す組織と人材～」

(2)日 時:11月19日(木)午後(予定)

(3)会 場:早稲田大学小野記念講堂

(4)対 象:企業経営者、企業支援者、企業評価者、研究者、中央・地方政策当局等

(5)定 員:200人程度

(6)主 催:日本ナレッジマネジメント学会、WICI Japan、早稲田大学知的資本研究会

(7)共 催:日本貿易研修センター

(8)後 援:経済産業省

(9)受講料 :無料

知的資産経営国際ワークショップ - インベーションを生み出す組織と人材 -

プログラム(案) 使用言語: 英語

時 間		内 容 (敬称略)
13:00	はじめに	開会趣旨 (早稲田大学教授 花堂靖仁)
13:05 - 13:35	基調講演①	知的資産が企業経営に与えるインパクト - 変革を生み出すものは何か 講師: パトリック・サリバン、ICM グループ設立者 討論者: 森田松太郎、日本ナレッジマネジメント学会理事長
13:35 - 13:55	基調講演②	知的資本をどう評価し、どのように活かし、伝えるか 講師: レイフ・エドヴィンソン、ルンド大学教授 討論者: 花堂靖仁、早稲田大学教授
13:55- 14:15	ケース ①	ECI: 成功要因分析にむけた挑戦-ドイツの事例から 講師: マート・キビカス
14:15 - 14:45	ケース ②	知的資産経営の実態をどう表し、伝えるか- 日本における製薬業界の KPI、及び欧州における KPI の議論から考える 講師: 三代 まり子、WICI Japan, KPI 検討委員会委員長/中村 良子、早稲田大学ビジネススクール
14:45 - 14:55	Break	
14:55 - 15:35	ケース ③	イノベーションの現場 -Future Center の試み オランダのケース: ハンク・クネ 日本のケース: 野村恭彦、富士ゼロックス
15:35 - 16:00	講演 ③	組織における知的資産の体系化にむけた課題(計測と報告) 講師: ボンフォール、パリ第 11 大学教授 討論者: 吉本 豊、経済産業省
16:00- 16:55	総括	イノベーションを支える知的資産経営展開の要件 -人的要因、組織的施策、協業をささえるコミュニケーションとその展開 パネリスト: 各講師 モデレータ: 住田孝之、JMC ブラッセル所長
16:55 - 17:00	おわりに	

参加申し込み: 日本ナレッジマネジメント学会事務局までメールでご連絡ください。

e-mail address: kms@gc4.so-net.ne.jp